

SOC210 地域計画論

2年 3,4クォーター

担当教員 栗原 知子

授業形態 講義, 演習

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

曜日・時限 火曜日・4時限

授業概要

社会の動きを読みつつ、ライフスタイルの変化に伴う現代社会の課題を理解し、個人や集団の地域生活の在り方を総合的に捉える。テーマ別に参考資料を読み解きながら、自身の生活体験・経験をハード・ソフト面から捉え直すことにより、地域課題を自分の身に引き寄せて学び、住宅及び住環境を中心として周辺地域との関係性を意識した地域計画について理解する。また、世代別の課題を整理しながら、総合的な視点で今後の地域計画を考える力を養う。

到達目標

講義毎の設定課題について、以下のことを目標とする。

- (1) 「資料を読む」：読み解く力をつけると共に、地域生活における課題に興味を持つ
- (2) 「なぜこうなったか」：社会の動きを意識し、現代社会の課題と現状を理解する
- (3) 「どうあるべきか」：個人や集団の地域生活の在り方を考察する
- (4) 「自分はどうしたいか」：自身の経験を振り返りつつ、課題に対する考えを持つ
- (5) 「他者はどう考えているか」：世代別の課題を想像したり、他者の意見に耳を傾けたりと他者の立場や考えを理解し、議論する力を養う

先修科目

該当なし

教科書・参考資料等

参考書

- 「地域で遊ぶ，地域で育つ子どもたち」深作拓郎代表編著，学文社，2012年6月
「近居：少子高齢社会の住まい・地域再生にどう活かすか」大月敏雄、学芸出版会、2014年3月
「日本の都市から学ぶこと：西洋から見た日本の都市デザイン」バリー・シェルトン、鹿島出版会、2014年4月
「新しい遊び場新装版」アービット・ベンソン、鹿島出版会、2015年1月
「設計力を育てる建築計画100選」今井正次、櫻井康宏編著、共立出版、2015年4月
「住まいの冒険―生きる場所をつくるということ―」木下勇他、萌文社、2015年4月

授業の方法

この授業は、講義毎のテーマに沿って、個人またはグループで簡単な発表を行い、その都度ディスカッション形式で課題内容を探究する演習方式を主とする。参考図書から担当テーマを選択し（または割り当てる）、期間中必ず一人一度は発表を担当すること。適宜、講義もまじえて課題内容の掘り下げを行う。

成績評価

講義ごとの発表やディスカッション、ミニレポート、さらに中間及び期末レポート等を総合的に評価し、成績をつける。

成績

- 40% 演習（ディスカッション等）での態度、参加度
30% 中間・期末レポート
30% ミニレポート

授業スケジュール

基本的にテーマ1～10は、学生主体でディスカッション方式の授業とする。

第1回: ガイダンス

授業の概要と方法を説明し、参考図書の紹介を行う。

第2回: 講義: ライフスタイルの変化と世代別の社会観

子どもの成長や高齢化社会など、ライフステージの変化が住宅や地域計画への要求や課題が変化することを学び、自身の興味の持ちどころを探る。

第3回: テーマ1 「ライフスタイルの変化と住まい」「家族像の変化と「脱nLDk」」

ライフスタイルの変化がもたらした住まいの変化について、ディスカッションを通してその歴史的变化と現状について理解する。

第4回: テーマ2 「ノーマライゼーションの理念」「自立と共生の社会システム」

福祉の分野を中心に広く浸透するようになった「ノーマライゼーション」の理念について学び、これからの社会に求める新たな「豊かさ」の指標を探る。

第5回: テーマ3 「冒険遊び場の理念と動向」

北欧デンマーク発祥の自由な遊び場「冒険遊び場」について学び、子どもも大人も地域で人が育ち合う仕組みとその可能性について考察する。

第6回: テーマ4 「新しい家族像と住まい方」

近年注目を集めるコレクティブハウジング、コーポラティブハウス、シェアハウス等、血縁にとらわれない新たな住まい方について、ディスカッションを通してその背景と意義について考察する。

第7回: テーマ5 「住宅と地域施設と「生活の社会化」」

「生活の社会化」について学び、住まいの役割と地域の役割について整理し、それらの在り方について考察する。

第8回: 講義: 世代別にみる地域施設の在り方

これまでの授業で話し合った内容を振り返りつつ、住宅及び住環境を中心として周辺地域との関係性を意識した地域計画について、地域施設を中心に検討し、新たなテーマ設定を行う。

第9回: テーマ6 「育児の社会化と幼稚園・保育所」

乳幼児期の子どもが1日のほとんどの時間を過ごす幼稚園や保育所について、現状と課題について学び、その在り方について考察する。

第10回: テーマ7 「小学校と地域の関係」

教育施設の役割について、地域との関わりやその意義を学び、家族として、市民としてどのように教育に関わっていくかを考察する。

第11回: テーマ8 「福祉施設の地域開放」「高齢者の居住施設と集合住宅」

障害者や高齢者の生活について学び、その施設の在り方や地域との関わり方について考察する。

第12回: テーマ9 「開かれた文化施設」

生活を豊かにする文化施設（美術館や図書館など）の在り方について、人や社会に開かれた施設とは何かを学び、それがどうあるべきかを考察する。

第13回: テーマ10 「豊かな地域生活とそれを支える行政や団体の存在」

豊かな地域生活とは何かを話し合い、それを支える社会の仕組みや人について考察する。

第14回: 講義: これからの地域計画と私達の役割

これまでの授業で話し合った内容を踏まえ、様々な世代の立場や要求を理解したうえで、地域計画における住宅と地域施設の在り方について考察する。

第15回: まとめ

学習した事を踏まえ、自分たちがこれからの生活及び社会的にどのような役割を担うべきか、自分たちが今できることについて発表する。

事前・事後学習

- ・予習: 発表担当者は、配布資料の内容の要旨、課題、意見をまとめたレジュメを作成すること。その他の学生については、配布した参考資料等を読み、意見・疑問点を話せるようにしておくこと
- ・復習: 授業内容を踏まえ、再度配布資料を読み、授業前後の自分自身の考えの違いを整理・まとめること

備考

受講者の人数や学生の興味、ディスカッションの進行具合により、講義・演習の内容を変更したり、前後させたりする場合もある。